



# 広島研修



## 広島研修に参加して

弥富中学校 衣笠 杏紀

### 【平和記念資料館を訪れて】

私は平和記念資料館に行って、戦争や原爆の怖さや恐ろしさを改めて感じることができた。たった一つの原爆で、たくさんの人が犠牲になったことを改めて実感した。たった数十秒でたくさんの命を奪い、その後も後遺症などでじわじわと人の命を奪う原爆そのものの怖さを絵や写真、文章、実物を見て全身で体感することができた。実際に被爆した人は、どのような思いで亡くなったかは分からないけれど、少なくとも原子爆弾の恐ろしさとその非情さを感じることができた。



### 【戦時中の食事を体験してみた】

私はしげるちゃん弁当を食べてみて戦争の体験として良い経験になった。しげるちゃん弁当を食べる前はいつもご飯を食べていることが当たり前だと思っていたけれど、食べた後は今の環境は当たり前ではなく、感謝しないといけないと実感した。

### 【大和ミュージアムを訪れて】

大和ミュージアムに行き、戦艦大和の模型を見ることで、その臨場感を体感することができた。そして戦艦大和に関するビデオを見て、改めて戦争の悲惨さを感じることができた。

### 【これから私が平和のためにできること】

私がこれから平和のためにできることは、戦争を次の世代に形として残していくことだと思った。私たちは戦争も被爆も経験していないし、実際の出来事について語れないけれど、原爆ドームなどの重要文化財を残していくことが私たちができることだと感じた。

### 【学習を終えて】

学習を終えて、広島研修は自分の人生においてとても良い経験になった。最初は戦争についてもあまり知らなかったし、広島研修に対しても前向きではなかったけど、研修を通して戦争に対する気持ちも変わった。

## 広島から私たちへとつながれたこと

弥富中学校 西山 龍之介

### 【平和記念資料館を訪れて】

私は、平和記念資料館で、原爆の力を知った。人がたくさん亡くなっただけでなく、ポロポロになった壁や鉄を見て、こんなまで壊れるんだと衝撃を受けた。また、何年も人を苦しめた後遺症は、直接被爆した人だけでなく、その後に救援活動に来た人や家族を探しに来た人も、地上にまだ残っていた放射線を受けて、それが原因で病気になったり、その時だけではなく、ずっと人々を苦しめたりした。戦争に関わっていない人も多く苦しんでいるのは、すごく悲惨だと感じた。まだ世界に核兵器があるということは、私もそういう目に遭うかもしれないと思い、とても怖く感じた。



### 【大和ミュージアムを訪れて】

戦艦大和を縮小したものを見て、その大きさと船に乗っている武器などから、戦争の激しさを感じた。また、回天には一人の人が乗るだけで、これに乗っていく人はとても怖い思いをしたんじゃないかと当時の戦い方を恐ろしいと思った。

### 【平和公園を訪れて】

慰霊碑の中に私たちと同じ中学生も含まれている慰霊碑があった。私と同じくらいの年の人も戦争に関わっていたことを知った。当時の学生は勉強したくてもできなかったと思うと、今の生活は、とても良いものだと感じた。

### 【これから私が平和のためにできること】

日本で戦争が終わってからかなり時間がたって、今、直接戦争のことを聞くということは難しいかもしれないけど、このことはずっとつないでいかないといけないものだと感じたので、身近な人でも良いから今回学んだことを伝えたいと思う。

### 【学習を終えて】

インターネットで調べれば戦争のことは出てくるかもしれないけれど、広島に行って、直接いろいろなものを見ることができたので、イメージができたし、話を聞けることももう今後できない体験だと思うから、良い勉強になった。今の生活がどんなに良いものか分かったし、戦争は二度と起こしてはいけないものと思った。

# 歴史民俗資料館

教育の広場

## 弥富の文化人

歴史民俗資料館では、弥富市から輩出した文化人の作品や関係資料の収集と調査・研究を続けています。

### 服部擔風(1867-1964)

明治・大正・昭和の三代にわたって活躍した鯛浦出身の漢詩人です。書家としても知られ掛軸など多くの書が残されています。日本の漢詩文化の発展に寄与し、日本芸術院賞受賞、勲四等瑞宝章受章など輝かしい功績を残しました。弥富でただ一人の名誉市民でもあります。



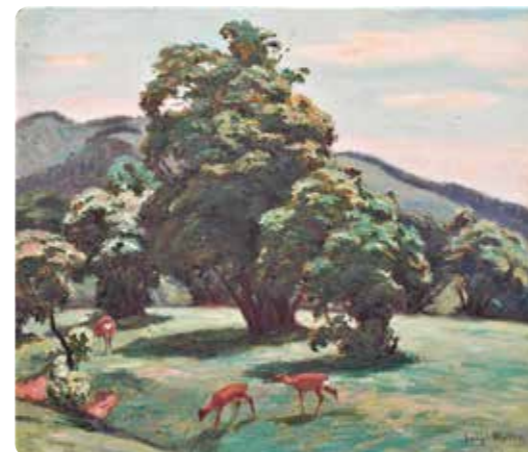
森津の藤公園に移設された擔風の書齋「藍亭」



服部擔風の漢詩碑がある孝忠園(鯛浦町)

### 加藤静児(1887-1942)

六条出身の洋画家です。津島中学校(現津島高校)から東京美術学校(現東京芸術大学)に進み、県内だけでなく中央画壇でも活躍しました。風景画を得意とし、奈良の若草山や京都の宇治橋、長野の上高地などを描いた作品が残っています。



加藤静児画「奈良若草山」

### 市野亨(1910-1966)

馬ヶ地出身の日本画家です。幼少から画才を発揮し、画家としての将来を期待されました。川端龍子の主宰する青龍会に所属し、幹部として活躍したほか、中部画壇の発展に寄与しました。得意とする鳥の絵の大作を数多く残しています。



市野亨画「鳥」

ほかにも漢学者の宮崎筠圃、洋画家の横井礼以、日本画家の服部黙耕など多くの文化人がいますので、今後も文化人の作品を収集し順次公開していきます。